

## 日 程 表

2024年5月13日作成

日数	月 日	都 市 名	現地時間	交通機関	摘 要
1	10月12日 (土)	羽田 フランクフルト フランクフルト ポルト	発着 17:30 21:00 22:50 発着	NH-223 (運行予定) LH-1180 専用バス	全日空にて、フランクフルトへ (時差：-7時間)【所要時間：14時間50分】 乗り継ぎ、ポルトへ (時差：-8時間)【所要時間：2時間50分】 (ポルト泊)
2	10月13日 (日)	ポルト		専用バス	ドウロ地方 ワイナリー見学(ポートワイン) ワインテイastingを含む豪華昼食 (ポルト泊)
3	10月14日 (月)	ポルト		専用バス	①ポルト市スマートシティ構想視察 セリの持続可能性向上や廃棄物削減の取組 午後、ポルト市内見学 (ポルサ宮、カテドラル等) (ポルト泊)
4	10月15日 (火)	ポルト マドリード	発着 08:15 10:35	専用バス IB-3091 専用バス	空路、マドリードへ (時差：-7時間)【所要時間：1時間20分】 ②在スペイン日本国大使館大使公邸訪問 大使からスペイン情勢についての説明と昼食 ③環境・技術研究センター(CIEMAT)視察 グリーン水素プロジェクトについて (マドリード泊)
5	10月16日 (水)	マドリード ビルバオ	発着 15:55 17:00	専用バス IB-438 専用バス	マドリード市内見学 (プラド美術館、スペイン広場等) 空路、ビルバオへ 【所要時間：1時間5分】 (ビルバオ泊)
6)	10月17日 (木)	ビルバオ ↓(65km) ビトリア ↓ ビルバオ		専用バス	④A&B イノベーター・ソリューションズ視察 徹底したサステナビリティ経営 午後、ビルバオ市内見学 (グッゲンハイム美術館、ビスカヤ橋等) (ビルバオ泊)
7	10月18日 (金)	ビルバオ ↓(90km) サンセバスチャン ↓ ビルバオ		専用バス	専用バスにて、サンセバスチャンへ ⑤サンセバスチャン市戦略政策室視察 美食を通じた地域ブランディングについて サンセバスチャン市内見学 (モンティゲルド展望台、コンチャ海岸等) (ビルバオ泊)
8	10月19日 (土)	ビルバオ フランクフルト フランクフルト	発着 14:05 16:10 20:45 発	専用バス LH-1143 NH-224	出発まで自由行動 専用バスにて、空港へ 空路、フランクフルトへ 【所要時間：2時間5分】 乗り継ぎ、帰国の途へ 【所要時間：13時間】 (機内泊)
9	10月20日 (日)	羽田	着 16:45		

# 2024 海外経済産業視察 主な視察先

テーマ：地球環境保全への取り組み

～再生可能エネルギーの利用促進とスマートコミュニティ事業の推進～

## 【ポルト市、ドウロ地方】

ポルト市は、ポルトガルの北西部にある港湾都市。人口約 160 万人の大都市で、首都リスボンに次ぐポルトガル第 2 の街。ポルト歴史地区として街全体がユネスコ世界遺産に登録されている。ポルト市周辺は、古くからポルトガルの経済、産業の中心地として栄え、1980 年代によく言われていたのが「ポルト周辺の人口当たりランボルギーニの所有率が世界一」。

現在、ポルトガルの主要産業はワイン、オリーブオイル、トマト、フルーツジュース等の食品産業である。その他の主要産業としてアパレルメーカー、高級綿製品、高級タオル等繊維産業、皮革産業、そして食器類、自動車部品等金属産業が挙げられる。

またドウロ地方は 1756 年に制定された世界最古のワイン産地呼称として知られ、このブドウ畑は世界遺産である。

10月14日（月）

### ①ポルト市スマートシティ構想

#### —セリ（市場）の持続可能性向上や廃棄物削減の取組—

ポルト市は、2020 年に「ポルト・スマートシティ」構想を発表し、持続可能な都市を目指した取り組みを進めている。その一環として、セリ（市場）の持続可能性にも取り組んでいる。

セリは魚介類や農産物などの生鮮食品を卸売り・小売りする市場。ポルト市にはいくつかのセリがあり、そのうちの一つの「セリ・ド・ボルガス」は、ポルト市最大のセリとして知られている。

同市場では、太陽光パネルの設置や LED 証明への切り替え、屋根の緑化や雨水の再利用などで環境負荷の低減に取り組んでいる。また食品ロスの削減やリサイクル・リユースの促進などにより廃棄物の削減にも取り組んでいる。2022 年には欧州委員会から「持続可能なセリ」の称号を授与された。ポルト市は同市場の取り組みをモデルとして、他のセリにも持続可能性向上を促進している。



## 【マドリード市】

マドリードはスペインの首都。マドリード州の州都でありマドリード州の唯一の県であるマドリード県の県都でもある。マドリッドとも呼ばれる。

人口は約 325 万人、EU 内においてパリに次ぐ規模の大都市圏。紋章はイチゴノキとクマ。スペイン中央部のメセタ地帯のマンサナーレス川沿いに広がる。近郊にはモストレス、アルカラ・デ・エナーレス、ヘタフェなどの都市があり、マドリード首都圏を形成している。

ヨーロッパ屈指の世界都市であり、アメリカのシンクタンクが 2017 年に発表した総合的な世界都市ランキングにおいて、世界 15 位の都市と評価された。またマドリードには国際連合の専門機関である世界観光機関（WTO、UNWTO）の本部が置かれている。

10月15日（火）

### ②在スペイン日本国大使館

1900 年、在スペイン日本帝国公使館開設。1952 年に在スペイン日本国大使館として開設され、埼玉県出身の渋沢信一氏（東京株式取引所頭取を務めた渋沢成一郎の五男）が初代特命全権大使に任命された。

当日は大使公邸にて駐スペイン日本国特命全権大使である中前隆博氏からスペイン情勢について講義を受けたのち大使を囲んで昼食会を予定。



### ③環境・技術研究センター（CIEMAT）

#### —グリーン水素サプライチェーン構築について—

環境・技術研究センター（CIEMAT）は、1951 年に設立されたスペインのマドリードにあるエネルギー、環境、技術に関する研究機関。スペイン科学技術イノベーション省の傘下であり、スペインにおけるエネルギー、環境、技術に関する研究開発の中核的な機関。欧州連合の研究プロジェクトや国際機関に積極的に参加している。CIEMAT の



年間予算は約 1 億 3,670 万ユーロ（2022 年）。約 1,500 人の研究者、技術者、行政職員が勤務している。

主な研究分野は以下の通り。

- ・エネルギー：再生可能エネルギー、エネルギー効率、核融合、核廃棄物処理など
- ・環境：気候変動、大気汚染、水資源管理、廃棄物管理など
- ・技術：材料科学、ナノテクノロジー、情報通信技術、医療技術など

## 【ビトリア市】

ビトリアはスペイン・バスク州の州都でありアラバ県の県都でもある。ビトリア＝ガステイスが正式名称であり、バスク自治州議会やバスク自治州政府が置かれている。人口は25万人であり、バスク州内ではビスカヤ県のビルバオに次いで人口が多い。2012年に欧州グリーン首都に選出された。また2014年にはスペインホテル連盟とスペイン観光ジャーナリスト連盟によってスペイン・ガストロノミー首都（美食文化首都）に選出された。

10月17日（水）

### ④A&B イノベティブ・ソリューションズ

#### ー 徹底したサステナビリティ経営 ー

スペインのバスク州では、サステナビリティと競争力に重点を置いた独自の経営モデルやそれを客観的に評価する仕組みを発展させてきた。そうした取り組みで高い評価を受ける企業の1つが、当州でバイオクリーナー製造を手掛けるA&B イノベティブ・ソリューションズ。

同社（2001年創業）は従業員数34人の小規模企業。微生物や酵素由来の活性物質を使ったバイオ技術製品を扱い、開発から生産・販売までを一貫して担う。同社の製品は洗浄剤、脱脂剤、消毒液、メンテナンス関連製品、水処理用関連製品などで、業務用と一般消費者向けの両方で展開。有害化学物質の使用は最終製品に至る製造工程で最小限にとどめた。その結果、素材を傷めず、人体（作業員）にとって安全・安心、かつ環境負荷が低い製品ラインアップを実現している。EUの「エコラベル」は環境パフォーマンスの高い商品に限って使用を認める表示制度だが、同社には「エコラベル」認定商品が19もある（2023年10月20日現在）。



## 【サンセバスチャン市】

サンセバスティアンはスペイン・バスク州ギプスコア県の県都であり人口は18万人。ビスケー湾に面しており、フランスとの国境からの距離は約20kmである。主要な経済活動は商業や観光業であり、スペインでもっとも著名な観光地のひとつである。その食文化やサン・セバスティアン国際映画祭などで世界的な知名度を得ている。ポーランドのヴロツワフとともに、2016年の欧州文化首都に選定されている。

10月18日（金）

### ⑤サンセバスチャン市戦略政策室

#### — 美食による地域ブランディングの確立とカーボンゼロを目指す同市の戦略 —

地域を活性化するためには、地域そのものの魅力を高める地域ブランディングが重要であり、サンセバスチャンは特に「美食」という地域資産を通じた地域ブランディングで多くの観光客を集めている。

2001年に設置されたサンセバスチャン市戦略政策室は、町をよりよくするために町が進むべき方向性（政策）を企画策定し推進している。因みにサンセバスティアン市庁舎は19世紀に建てられた元カジノの建物。

サンセバスチャンは1813年に戦争で街が崩壊した後、1843年ごろからマドリッドの王族が夏の間の避暑地として利用されてきた地域でありそれがこの地域の観光地としての始まり。徐々に避暑地としてのイメージは低下していたが、2003年に昔ながらの市場（いちば）を歩行者専用にすることで新しい商業地区として活性化。避暑地として利用されてきた頃からのロマンチック様式の建造物（劇場や水族館等）を改修するなどの取組を行ってきた。またバスク・クリナリーセンター（「料理」で学位を取得することができる4年制の大学）を設立することで美食を発展させてきた。



以上

# 観光スポット一覧

## アルト・ドウロ



**レグア**

アルト・ドウロと呼ばれるドウロ川上流には、川沿いの山の斜面がブドウの段々畑に利用され、畑を支える石垣が延々と続く。その美しい景観が世界文化遺産に登録されている。

レグアは、ポートワインの集積地として古くから発展してきたアルト・ドウロ地域の中心的な街。

夏のシーズン中はレグアからクルーズ船や蒸気機関車も運行されており、ポルトガル国内はもとよりヨーロッパ各国からの観光客で賑わっている。



**ピニャオン**

レグアからドウロ川沿いに東へ 23 km。ピニャオンはレグア同様、ワイン産業の要所で、かつてはワイン樽が帆船ラベロでポルトへと出荷されていた。運搬手段がトラックに変わった現在では、棧橋はリバークルーズ船の発着場となり、その前にはかつてのワイン倉庫を改装した瀟洒なホテルが建っている。またピニャオン駅は、ブドウの収穫やワインの積み出し風景を描いたアズレージョで彩られ、ポルトガルで最も美しい駅の一つと称される。

## ポルト



**ボルサ宮殿**

火災で焼失したサン・フランシスコ修道院の跡地にポルト商業組合の建物として1834年に造られ、ごく最近まで証券取引所として使われていた。アルハンブラ宮殿を模して造られたという「アラブの間」は、見事そのもので、当時のポルトの経済力を誇示するため18年かけて造られたもので、添乗から壁全体を飾る色とりどりのアラベスク模様のタイルがとても美しい。



**カテドラル**

もとは要塞として 12 世紀に建てられ、17～18 世紀に回収された。北面のバロック様式の外壁は、クレリゴス教会を設計したイタリア人建築家ナソーニによって 18 世紀に付け加えられた。内部には 17 世紀に造られた銀細工の祭壇があり、祭壇右側のドアは回廊へと続いている。回廊の内壁に張られた 18 世紀のアズレージョが美しい。



**サン・ベント駅**

20世紀初め、修道院の跡地に造られた。ホールの壁を飾るアズレージョはジョルジュ・コラコが1930年に制作。ジョアン1世のポルト入城など、ポルトに纏わる歴史的な出来事が描かれている。



**ドン・ルイス1世橋**

世界遺産に登録されているポルトのシンボル。ポルトの中心部とヴィラ・ノヴァ・デ・ガイアを結ぶ。ギュスターブ・エッフェルの弟子のひとり、テオフェロ・セリグが設計し、1886年に開通した。幅約8mの2階建て構造で、長さ395mの上層はメトロ用、174mの仮想は自動車用。

## マドリッド



**プラド美術館**

11世紀から18世紀にかけてのスペイン王家のコレクションを展示している美術館。フェリペ2世とフェリペ4世がコレクションの基礎を築き、1819年に王立美術館として開館しました。ベラスケスの『ラス・メニーナス』、ゴヤの『裸のマハ』や『着衣のマハ』等を始めとするスペイン絵画の傑作が集結している他に、フランスやイタリアの名画等、諸外国の作品も収蔵されています。



**スペイン広場**

マドリッドの目抜き通り、グラン・ビアの終点に位置するスペイン広場は、7世紀に活躍したスペインの文豪、セルバンテス（1547～1616年）を記念して1930年に造られたモニュメントと像のある広場で、記念撮影のポイントとして人気が高い場所になっています。周囲にスペイン・ビルやマドリッド・タワーなど20世紀中頃に造られたビルが建っている広場の中央には、セルバンテスのモニュメント、その前には小説の主人公ドン・キホーテと従者サンチョ・パンサの像があります。

## ビルバオ



**グッゲンハイム美術館**

ニューヨークに本部を置くグッゲンハイム美術館の分館として1997年に開館。かつて造船所のあった川岸に聳える前衛的な建物は、アメリカの建築家フランク・O・ゲーリーによるもの。3つのフロアを持つ館内では、常設展のほか、ほぼ半年ごとに企画展が開催され、ワークショップも行われるなどモダンアートの発信地となっている。



**ビスカヤ橋**

世界最古の運搬橋で世界遺産に登録されている。ビルバオ郊外にあるポルトゥガレテとゲチョの街を射結ぶ全長160メートルの鉄橋。エッフェルの弟子として知られるビルバオ出身のエンジニア、アルベルト・デ・パラシオの設計により、世界初の運搬橋として1893年に開通。当時としては画期的な軽量鉄ケーブルを使った構造は世界各地に造られた運搬橋のモデルとなった。今も人々の生活の足として活躍している。

## サンセバスチャン



**旧市街**

美食の街サン・セバスティアンの観光として絶対に外すことができないのが、美味しく気楽にお酒と料理を楽しむことのできる庶民的な居酒屋（バル）巡りではないでしょうか。中でもサン・セバスティアンの旧市街はバルの聖地といわれるほど、多くの美味しくリーズナブルなバルがひしめき合ってます。



**モンテ・イゲルド**

コンチャ湾の西端に位置する標高約180mの丘。展望台から見るコンチャ湾と丘陵にまで広がる街並みが美しい。頂上には、展望台と遊園地がある。



## ホテルリスト

City (都市名)	期 間		Name of Hotel (ホテル名)	Address, Phone (住所、電話)
	In	Out		
Porto ポルト 【3泊】	10/12	10/15	<p><b>Hotel InterContinental Porto</b> (インターコンチネンタル・ポルト)</p> <p>〔所在地〕 Pr. de la Libertade 25 〔電 話〕 + 220 035 600 URL: <a href="http://www.ihg.com">www.ihg.com</a></p> <p>中心部に立つ大型ホテル。18世紀末に建てられたカルドサス宮殿を改装しており、客室やレストランもクラシッくな趣がある。</p>	
Madrid マドリード 【1泊】	10/15	10/16	<p><b>Villa Real</b> (ビリャ・リアル)</p> <p>〔所在地〕 Pl. de las Coretes 10 〔電 話〕 + 914 203 767 URL: <a href="http://www.hotelvillareal.com">www.hotelvillareal.com</a></p> <p>オーナーは美術品の収集家としても知られ、館内にはローマ時代のモザイクなどが飾られている。客室は、寝室とリビングが段差で仕切られたジュニアスイート風の造りとなっている。</p>	
Bilbao ビルバオ 【3泊】	10/16	10/19	<p><b>Grand Hotel Domine Bilbao</b> (グラン・ドミネ)</p> <p>〔所在地〕 Alameda de Maazarredo 61 〔電 話〕 + 944 253 301 URL: <a href="http://www.hoteldominebilbao.com">www.hoteldominebilbao.com</a></p> <p>グッゲンハイム美術館の正面に建つ、ビルバオ唯一の5つ星ホテル。スペインの人気デザイナー、ハビエル・マリスカルが手掛けスタイリッシュな内装が特徴。</p>	